



2026国民平和と大行進（府内）では、自治労連のPEACEフラッグの寄せ書きをつないで、平和の願いを込めて行進しました。

7・24 中央行動 大幅賃上げ勧告勝ち取ろう

全労連・国民春闘共闘・全労連公務部会・公務労組連絡会は、「誰もが生活改善を実感できる大幅賃上げ勧告を！26人勧闘争勝利！7・24中央行動」を開催しました。

▶人事院への署名提出行動では、関連評の松下副幹事長（左から2人目）が非正規の処遇改善を求めた



▲5人の大阪代表团も終日奮闘



執行委員長 上山大介さん
副執行委員長 瀬戸恵美さん

左から上山大介委員長と瀬戸恵美副委員長

労働組合バトンをつないで 笑顔あふれる学童保育を

河内長野指導員労組で、長い間委員長をされていた方が「いつまでも続けられない」と辞任された時、「役員をやるなら組合を辞める」と連鎖的に組合脱退が続いたそうです。その後、交替で組合役員をすることが決まり、上山さんと瀬戸さんも「くじ引き」で役員になりました。昨年の役員は経験の少ない人が多くて、組合運営に苦労したので、組合運動をつなぐためにも、上山さんと瀬戸さんが継続して、自立した活動ができる組合づくりをめざしています。頑張っているお二人に話をお聞きました。

学童指導員になったきっかけは？

上山 子どもに関わる仕事がいと放課後デイサービスで勤務、妻が市役所勤務で学童保育担当課の職員に誘われました。

瀬戸 就職して3年目、住んでいた京都で放課後児童会のアルバイトを経験し、河内長野市に転入したのがきっかけです。

河内長野の放課後児童会(学童保育)の良いところは？

上山 学童指導員は初めてなので、他の学童と比べようがないですが、子どもが自分で気づき、自分でできるようになることをめざすので、広い視野で子どもたちを

把握し、大きなトラブルがないように配慮しています。

瀬戸 学童保育は、保護者の就労支援の一環であり、保護者が安心して働けるように環境を整えることを子どもたちが自分で考えることを大事にし、失敗も含めて経験させることが大切です。

上山 「生活の場」として、学童保育を通じて生活習慣を身につけることが求められています。

瀬戸 子ども同士のコミュニケーションも大切なので、異年齢の交流を重視して「主役は子ども」という姿勢で向き合っています。

労働組合があつてよかったと感じたことは？

上山 先輩から「組合あるから入

るよね」と当たり前のように誘われました。当初は組合の活動内容が知らなかったけど、執行役員になって大事さに気づきました。

瀬戸 いまの労働条件は、先輩たちが交渉を積み重ねて実現したものです。黙っていても改善されないで、組合として継続的に交渉する必要性を実感しています。

休日は何をしていますか？

上山 趣味はビリヤードで休みの日にやっています。それと3人の子もたちとおでかけですね。

瀬戸 読書が好きですね。いろんなジャンルを読むけど、推理小説は読みません。子どもを独立させたので、休日もゆっくり過ごしています。



河内長野指導員労組の仲間